

# CASBEE®-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ヤマハ本社22号館新築計画	階数	地上12F
建設地	静岡県浜松市	構造	S造
用途地域	商業地域、防火指定なし(法22条区)	平均居住人員	1,247 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,940 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年3月 予定	評価の実施日	2024年2月29日
敷地面積	12,610 m <sup>2</sup>	作成者	佐藤 怜
建築面積	2,803 m <sup>2</sup>	確認日	2024年2月29日
延床面積	22,709 m <sup>2</sup>	確認者	畑 伸明



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 3.0**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Q のスコア = 3.8

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.7

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 4.0

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.6

### LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 4.0

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.6

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 静岡県浜松市に計画された本社オフィスビルである。高い断熱性能や高効率な設備機器の採用、省エネルギー性能に配慮し、環境負荷低減にも大きく貢献した施設である。また非常用発電機や防災備蓄倉庫の確保等によりBCPの面についてもリスクを最小限に抑えられるような取り組みを行っている。		<b>その他</b> -
<b>Q1 室内環境</b> ・ダブルスキンを採用し、開口部の温熱環境に配慮している。 ・全面的なF☆☆☆☆の材料の採用や、十分な換気量の確保等により、居室の空気質環境に配慮している。	<b>Q2 サービス性能</b> ・建物コンセプトに基づく内装デザインとしている。 ・耐用年数が高い内装材や配管材を採用し、建物の耐久性に配慮している。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> ・新たに植栽を行うことで豊富な緑を確保している。
<b>LR1 エネルギー</b> ・高効率な設備機器等を導入し、エネルギーの効率的利用に配慮する。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・リサイクル材を積極的に使用しており、非再生資源の使用量の削減を図っている。	<b>LR3 敷地外環境</b> ・雨水流出抑制対策を整備し、雨水排水負荷を低減している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される